

インフルエンザ 流行注意報

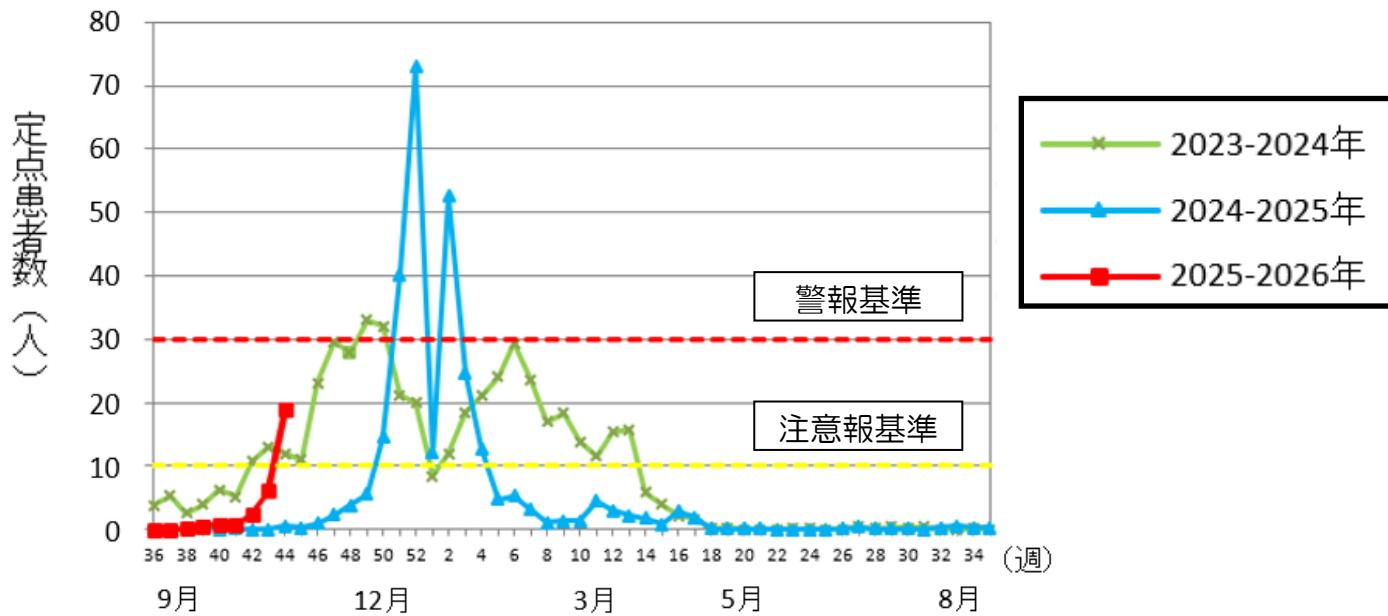
市内における第44週(10/27~11/2)のインフルエンザ定点あたり報告数が18.83となり、注意報レベルの基準値(10)を大きく上回りました。

報告数の多くは15歳未満の小児であり、学校サーベイランスにおいても小学校での学級閉鎖が多数確認されています。

ウイルスサーベイランスでは、検出されたウイルスのほとんどがAH3亜型であり、現在は主にAH3亜型が流行していると考えられます。第45週に入り、学級閉鎖の報告はさらに増加しており、今後も感染拡大が懸念されます。

引き続きサーベイランスの動向にご留意いただくとともに、診療体制の整備及び院内感染対策の徹底をお願いいたします。

■インフルエンザ定点当たり報告数(過去3年との比較)



■インフルエンザ発生状況(週別報告数比較表)

週数		定点当患者数	報告総数	学校サーベイ			ウイルスサーベイ		
				小学校	中学校	高校	AH1 Pdm09	AH3 亜型	A 亜型不明
42週	10/13~19	2.42	29	-	-	-	-	-	-
43週	10/20~26	6.17	74	1	1	2	-	5	1
44週	10/27~11/2	18.83	226	5	-	-		3	-
45週	11/3~9	/	/	8	1	1	/	/	/

学校サーベイは11/5現在の速報値